

平成29年度
教育委員会の点検・評価報告書
(平成28年度事業対象)

平成29年8月
葉山町教育委員会

目次

| | | |
|---|--|----|
| 1 | はじめに | 2 |
| 2 | 趣旨 | 2 |
| 3 | 教育委員会の活動内容について | 3 |
| | (1) 教育委員会会議の開催状況 | 3 |
| | (2) 教育委員会会議の付議事項 | 10 |
| | (3) 教育委員会会議以外の活動状況 | 11 |
| 4 | 「教育総合プラン 学びの基本理念」に基づく取組状況 | 15 |
| | (1) 基本理念Ⅰ 自立した人間をめざして | 16 |
| | (2) 基本理念Ⅱ 心豊かに共生できる人間をめざして | 35 |
| | (3) 基本理念Ⅲ 自然のあらゆることに思いを馳せ、感謝の念を持って 行動できる人間をめざして | 41 |
| | (4) 基本理念Ⅳ 人類の進歩と発展に貢献できる人間をめざして | 43 |
| 5 | 学識経験者による意見 | 46 |

1 はじめに

～美しい海とみどりに

笑顔あふれる ころろ温かな ふるさと 葉山～

葉山町教育委員会は、この町に住む一人ひとりが人間的に豊かで幸福に生きていくためには、一人ひとりの「生涯にわたって学習し続ける意欲」とそれに応える行政の「学習・教育環境の充実」が必要不可欠の両輪であると考えています。そこで、町教育委員会では、町民一人ひとりが学習することの意義や学ぶ姿勢についていつも意識できること、自らの学習意欲を主体的に形成できることを、教育行政の中心的な課題として認識し取組みを行っています。

2 趣旨

葉山町教育委員会では、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の趣旨にのっとり、平成28年度を対象として教育委員会の活動内容をとりまとめるとともに、葉山町教育総合プランの4つの基本理念に則して主な施策の点検と自己評価を行い、「教育委員会の点検・評価報告書」（以下「報告書」という。）を作成しました。

また、点検・評価にあたっては、教育に関する学識経験を有する方から頂戴したご意見も合わせて報告書を作成しており、町議会に提出するとともに、町ホームページにおいて公表します。

参考 地方教育行政の組織及び運営に関する法律

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

3 教育委員会の活動内容について

(1) 教育委員会会議の開催状況

教育委員会会議については、原則として毎月1回「教育委員会定例会」を開催しています。平成28年度中は、定例会を12回、また、臨時会を1回開催しました。さらに、これらの会議のほか、随時、研修会等を実施しています。

■ 4月定例会（平成28年4月20日開催）

《議案第1号》教育施設の工事計画（案）について

| 施設名 | 工事名称 |
|---------|--------------------|
| 上山口小学校 | グラウンド整備工事 |
| 長柄小学校 | 急傾斜地崩落対策工事 |
| 一色小学校 | 屋内運動場天井等非構造部材耐震化工事 |
| 葉山中学校 | 屋内運動場天井等非構造部材耐震化工事 |
| 長柄桜山古墳群 | 第1号墳遺構保存整備工事 |
| しおさい博物館 | 空調機整備工事 |

(趣旨) 規則により、予定価格1000万円以上の工事について計画内容を審議する。

○原案通り承認

《議案第2号》葉山町教育振興基本計画策定委員会委員の委嘱について

(趣旨) 葉山町教育振興基本計画策定委員会委員の委嘱を行う。

○原案通り承認

《議案第3号》第二次葉山町教育総合プラン（素案）の諮問について

(趣旨) 第二次葉山町教育総合プラン（素案）について、葉山町教育振興基本計画策定委員会に意見を求める。

○原案通り承認

《議案第4号》葉山町高校生奨学給付金支給規則について

(趣旨) 葉山町高校生奨学給付金支給規則の制定を行う。

○原案通り承認

《協議・報告事項》

- ・ 葉山町学校給食基本構想（案）について
- ・ 葉山町立中学校通学費助成金給付要綱の一部改正について

■ 5月定例会（平成28年5月18日開催）

《議案第5号》平成28年度葉山町教育予算（一般会計補正予算（第1号））
（案）について

（歳入）

| 事業名 | 補正予算額 | 内容 |
|-----------|---------|----------------------|
| 南郷中学校運営事業 | 50,000円 | 負担金補助及び交付金（社会見学等補助金） |

（歳出）

| 事業名 | 補正予算額 | 内容 |
|-------|----------|----------------|
| 一般事務費 | 162,000円 | 葉山町学びづくり研究推進事業 |

（趣旨）町議会において、上記補正予算に係る議決を経ることについて意見の申し出を行う。

○原案通り承認

■ 6月定例会（平成28年6月22日開催）

《協議・報告事項》

- ・ 平成28年度教育委員会の点検・評価報告書について

■ 7月定例会（平成28年7月20日開催）

《議案第6号》平成29年度使用小中学校教科用図書の採択について

（趣旨）義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律に基づき、使用教科用図書を採択する。

○次のとおり採択

（小学校）

| 種目 | 発行者名 |
|----|--------|
| 国語 | 光村図書出版 |
| 書写 | 光村図書出版 |

| | |
|------|-------|
| 社 会 | 教育出版 |
| 地 図 | 帝国書院 |
| 算 数 | 学校図書 |
| 理 科 | 大日本図書 |
| 生 活 | 教育出版 |
| 音 楽 | 教育出版 |
| 図画工作 | 開隆堂出版 |
| 家 庭 | 開隆堂出版 |
| 保 健 | 東京書籍 |

(中学校)

| 種 目 | 発行者名 |
|-------------|----------|
| 国 語 | 三省堂 |
| 書 写 | 光村図書出版 |
| 社会（地理的分野） | 帝国書院 |
| 社会（歴史的分野） | 東京書籍 |
| 社会（公民的分野） | 東京書籍 |
| 地 図 | 帝国書院 |
| 数 学 | 新興出版社啓林館 |
| 理 科 | 大日本図書 |
| 音楽（一般） | 教育芸術社 |
| 音楽（器楽合奏） | 教育芸術社 |
| 美 術 | 光村図書出版 |
| 保健体育 | 東京書籍 |
| 技術・家庭（技術分野） | 東京書籍 |
| 技術・家庭（家庭分野） | 東京書籍 |
| 英 語 | 学校図書 |

《議案第7号》葉山町指定文化財の指定について
 （趣旨）葉山町有形文化財の指定を行う。

○原案通り承認

《協議・報告事項》

- ・ 平成 28 年度教育委員会の点検・評価報告書について

■ 8 月定例会（平成 28 年 8 月 17 日開催）

《議案第 8 号》平成 28 年度教育委員会の点検・評価報告書（平成 27 年度対象）
について

（趣旨）規則により、教育委員会の点検・評価報告書を審議する。

○原案通り承認

《協議・報告事項》

- ・ 葉山町学校給食基本構想（案）について

■ 9 月定例会（平成 28 年 9 月 21 日開催）

《議案第 9 号》葉山町学校給食基本構想について

（趣旨）葉山町学校給食基本構想を策定する。

○原案通り承認

■ 10 月定例会（平成 28 年 10 月 26 日開催）

《協議・報告事項》

- ・ 学校給食について
- ・ 幼・保・小の連携について
- ・ 施設開放上山口小学校グラウンド使用ルールについて

■ 11 月定例会（平成 28 年 11 月 18 日開催）

《議案第 10 号》葉山町教育委員会委員長の選挙について

（趣旨）平成 28 年 11 月 30 日をもって任期満了する教育委員長の選任。

○委員長に鈴木伸久委員、委員長職務代理者に山崎勝美委員が選任された。

《協議・報告事項》

- ・ 第二次葉山町教育総合プラン（答申）について
- ・ 第 69 回葉山町成人式について

■ 12 月定例会（平成 28 年 12 月 21 日開催）

《協議・報告事項》

- ・ 第二次葉山町教育総合プラン（答申）について
- ・ 「葉山町給食調理業務作業基準」について
- ・ 国登録有形文化財（建造物）の新規登録について

■ 1月定例会（平成29年1月18日開催）

《議案第11号》平成28年度葉山町教育予算（一般会計補正予算（第6号））（案）
について

（歳入）

| 事業名 | 補正予算額 | 内容 |
|-----------------|-------------|--|
| 学校施設環境改善 交付金 | 7,900,000円 | 小学校耐震整備事業（葉山小学校屋内 運動場天井等非構造部材耐震化工事） |
| | 20,000,000円 | 中学校管理事業（葉山中学校グラウン ド整備工事） |
| | 3,333,000円 | 中学校耐震整備事業（南郷中学校屋内 運動場天井等非構造部材耐震化工事） |

（歳出）

| 事業名 | 補正予算額 | 内容 |
|----------------|--------------|--|
| 葉山町教育基金積 立金 | 1,000円 | 基金利息積立金 |
| まごころ教育推進 事業 | 840,000円 | 高校生奨学給付金の助成 |
| 小学校管理事業 | △29,000,000円 | 上山口小学校グラウンド整備工事・入 札差金 |
| 小学校耐震整備事 業 | 25,390,000円 | 葉山小学校屋内運動場天井等非構造 部材耐震化工事監理業務委託 葉山小学校屋内運動場天井等非構造 部材耐震化工事 |
| 中学校管理事業 | 155,000,000円 | 葉山中学校グラウンド整備工事 |
| 中学校耐震整備事 業 | 11,430,000円 | 南郷中学校屋内運動場天井等非構造 部材耐震化工事監理業務委託 南郷中学校屋内運動場天井等非構造 部材耐震化工事 |

(趣旨) 町議会において、上記補正予算に係る議決を経ることについて意見の申し出を行う。

○原案通り承認

《議案第 12 号》平成 29 年度葉山町教育予算（案）について

(趣旨) 町議会において、平成 29 年度予算に係る議決を経ることについて、意見の申し出を行う。

○原案通り承認

《協議・報告事項》

- ・ 第二次葉山町教育総合プラン（案）について
- ・ 平成 28 年度全国学力・学習状況調査結果について

■ 2 月定例会（平成 29 年 2 月 15 日開催）

《協議・報告事項》

- ・ 学校給食センター建設に係る進捗状況について
- ・ 第二次葉山町教育総合プランについて

■ 3 月定例会（平成 29 年 3 月 22 日開催）

《議案第 13 号》学校医の解職について

(趣旨) 辞職の申し出に伴い解職する。

○原案通り承認

《議案第 14 号》学校医の委嘱について

(趣旨) 辞職に伴い学校医の委嘱をする。

○原案通り承認

《議案第 15 号》葉山町社会教育委員及び葉山町公民館運営審議会委員の委嘱について

(趣旨) 任期満了に伴い社会教育委員及び公民館運営審議会委員の委嘱を行う。

○原案通り承認

《議案第 16 号》葉山町青少年指導員の解職について

(趣旨) 辞職の申し出に伴い解職する。

○原案通り承認

《議案第 17 号》葉山町青少年指導員の委嘱について
(趣旨) 辞職に伴い青少年指導員の委嘱をする。

○原案通り承認

《議案第 18 号》葉山町教育委員会事務局の組織等に関する規則の一部を改正する規則について

(趣旨) 葉山町教育委員会事務局の組織等に関する規則について必要な改正を行う。

○原案通り承認

《議案第 19 号》葉山町公立学校教職員の人事異動について
(趣旨) 規則により、人事案件を審議する。

○原案通り承認

《議案第 20 号》葉山町教育委員会事務局職員の人事異動について
(趣旨) 規則により、人事案件を審議する。

○原案通り承認

《協議・報告事項》

- ・ 第二次葉山町教育総合プランについて

■平成 29 年 第 1 回臨時会 (平成 29 年 3 月 31 日開催)

《協議・報告事項》

- ・ 第二次葉山町教育総合プランについて

参考

*教育委員会定例会及び臨時会の審議状況については、葉山町ホームページの教育委員会サイトで会議録を公開しています。

(2) 教育委員会会議の付議事項

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第25条及び「葉山町教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則」第2条の規定に基づき、平成28年度は、合計20件の議案が教育委員会に付議されました。

【平成28年度 教育委員会会議 付議事項一覧】

| 議案番号 | 件名 | 提出日 |
|------|--------------------------------------|--------|
| 1 | 教育施設の工事計画(案)について | 4月20日 |
| 2 | 葉山町教育振興基本計画策定委員会委員の委嘱について | 4月20日 |
| 3 | 第二次葉山町教育総合プラン(素案)の諮問について | 4月20日 |
| 4 | 葉山町高校生奨学給付金支給規則について | 4月20日 |
| 5 | 平成28年度葉山町教育予算(一般会計補正予算(第1号))(案)について | 5月18日 |
| 6 | 平成29年度使用小学校教科用図書採択について | 7月20日 |
| 7 | 葉山町指定文化財の指定について | 7月20日 |
| 8 | 平成28年度教育委員会の点検・評価報告書(平成27年度事業対象)について | 8月17日 |
| 9 | 葉山町学校給食基本構想について | 9月21日 |
| 10 | 葉山町教育委員会委員長の選挙について | 11月18日 |
| 11 | 平成28年度葉山町教育予算(一般会計補正予算(第6号))(案)について | 1月18日 |
| 12 | 平成29年度葉山町教育予算(案)について | 1月18日 |
| 13 | 学校医の解職について | 3月22日 |
| 14 | 学校医の委嘱について | 3月22日 |
| 15 | 葉山町社会教育委員及び葉山町公民館運営審議会委員の委嘱について | 3月22日 |
| 16 | 葉山町青少年指導員の解職について | 3月22日 |
| 17 | 葉山町青少年指導員の委嘱について | 3月22日 |
| 18 | 葉山町教育委員会事務局の組織等に関する規則の一部を改正する規則について | 3月22日 |
| 19 | 葉山町公立学校教職員の人事異動について | 3月22日 |
| 20 | 葉山町教育委員会事務局職員の人事異動について | 3月22日 |

(3) 教育委員会会議以外の活動状況

平成 28 年度、教育委員は、教育委員会会議以外に、町議会、各種行事、学校視察等について、合計で 170 回の出席及び参加をしました。

【概要】

- ① 町議会関係・・・・・・・・・・ 5 回
- ② 校長会議・教頭会議・・・・・・・・ 12 回
- ③ 各種行事・大会・・・・・・・・・・ 83 回
 辞令交付式、葉山町民マラソン、海水浴場開き、
 葉山町文化祭、葉山町成人式、かながわ駅伝他
- ④ 学校視察・運動会等・・・・・・・・ 15 回
- ⑤ その他の会議等・・・・・・・・・・ 55 回
 総合教育会議、神奈川県市町村教育委員会連合会総会、
 神奈川県町村教育長会総会、湘三教育事務所管内教育長会議他

【平成 28 年度 教育委員会会議以外の活動一覧】

| | 各種行事・大会 | そ の 他 |
|-----|--|---|
| 4 月 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 辞令交付式 ・ 陸上競技講座 ・ 体育協会総会（表彰等） ・ 春の全国交通安全運動街頭キャンペーン ・ 海山に育ち親しむ子どもたち（里山管理体験） ・ しおさい公園無料開放 ・ しおさい博物館企画展「鮫 海の王者の真実」「葉山を描く絵画展」 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 校長会議 ・ 教頭会議 ・ 県市町村教育委員会連合会総会 ・ 初任者研修会 ・ スポーツ推進委員定例会 ・ 青少年指導員定例会 ・ ジュニアリーダーズクラブ総会 |
| 5 月 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 体育祭（南郷中学校） ・ 学校視察（葉山小学校） ・ 運動会（長柄小学校） ・ 陸上競技講座 ・ 海山に育ち親しむ子どもたち（稚魚放流・潮干狩り体験） ・ しおさい博物館企画展「絵葉書で迎える海辺の景色」 ・ しおさい公園「竹あかり展」 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 校長会議 ・ 県町村教育長会幹事会 ・ 三浦半島地区教育長協議会総会 ・ 租税教育推進協議会 ・ 総合教育会議 ・ 湘三教育事務所管内教育長会議 ・ 全国町村教育長会定期総会並びに研究大会 ・ 県町村教育長会春の総会並びに春季研 |

| | | |
|----|---|--|
| | | <p>究会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関東甲信越静市町村教育委員会連合会 総会及び研修会 ・社会教育委員会 ・葉山地区PTA連絡協議会総会 |
| 6月 | <ul style="list-style-type: none"> ・葉山町民マラソン ・運動会（上山口小学校） ・学校視察（上山口小学校） ・葉山自然観察隊 ・卓球講座 ・しおさい博物館企画展「絵葉書で迎える海辺の景色」 | <ul style="list-style-type: none"> ・町議会 ・校長会議 ・就学支援委員会 ・県市町村教育委員会教育長会議 ・青少年問題協議会 ・スポーツ推進委員横三地区情報交換会 ・文化財保護委員会 |
| 7月 | <ul style="list-style-type: none"> ・海水浴場開き ・学校視察（葉山中学校） ・社会を明るくする運動 ・草津町親善水泳教室 ・海の学校（波乗り体験） ・しおさい博物館企画展「絵葉書で迎える海辺の景色」「深海という極限環境」 | <ul style="list-style-type: none"> ・校長会議 ・県市町村教育長会連合会幹事会 ・葉山町PTA研修会 ・葉山被害者支援ネットワーク総会 ・湘三地区小学校教育課程研究会 |
| 8月 | <ul style="list-style-type: none"> ・海の学校（ヨット体験講座） ・学校プール開放 ・ジュニアキャンプ ・「青い目の人形」文化財指定記念展示 ・しおさい博物館企画展「深海という極限環境」 | <ul style="list-style-type: none"> ・県市町村教育委員会連合会役員会 ・湘三管内教育長会議 ・町村教育長会Aブロック研究会議 ・葉山町中学生・高校生議会 ・葉山町教育研究会講演会 ・古墳整備検討会 |
| 9月 | <ul style="list-style-type: none"> ・体育祭（葉山中学校） ・葉山町青少年創意くふう展 ・秋の全国交通安全運動街頭キャンペーン ・あいさつ運動（標語） ・さわやか体験学習 ・考古パネル展示「明治・大正・昭和の葉山」 ・スポーツオープンデー | <ul style="list-style-type: none"> ・町議会 ・校長会議 |

| | | |
|-----|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・しおさい博物館企画展「深海という極限環境」 ・サイエンスカフェ | |
| 10月 | <ul style="list-style-type: none"> ・文化祭（南郷中学校） ・運動会（葉山小学校） ・運動会（一色小学校） ・学校視察（長柄小学校） ・葉山中学校合唱コンクール ・文化財講座 ・文化財パネル展 ・逗葉地区青少年音楽祭 ・南郷中学校吹奏楽演奏会 ・楽しく走ろう！ジョギング in はやま ・町民体力測定 ・しおさい博物館企画展「食べたい魚、食べられたくない魚」「三浦半島文化財展」 ・月岡榮貴生誕 100 周年記念展示（しおさい博物館） ・葉山町所蔵美術展①（図書館） | <ul style="list-style-type: none"> ・校長会議 ・県町村教育長会幹事会 ・神奈川県町村教育長会秋の総会並びに秋季研究会 ・就学支援委員会 ・先進地視察（秋田県） ・湘三管内教育長会議 ・社会教育委員会 |
| 11月 | <ul style="list-style-type: none"> ・総合防災訓練 ・学びづくり公開授業（葉山中学校） ・学びづくり公開授業（一色小学校） ・戦没者慰霊祭 ・文化財講座 ・あいさつ運動（川柳） ・ジュニアリーダー養成講座（全6回） ・人権展 ・はやま南郷ヒルクライムスプリント ・しおさい公園無料開放 ・葉山町文化祭 ・月岡榮貴生誕 100 周年記念展示（しおさい博物館） ・葉山町所蔵美術展①（図書館） | <ul style="list-style-type: none"> ・校長会議 ・研究発表会視察（茅ヶ崎市立松林中） ・県市町村教育長会連合会幹事会及び総会 ・県公立小学校横須賀地区小学校管理運営研究会 ・県市町村教育委員会連合会研修会（大和市） ・研究発表会視察（藤沢市立秋葉台小） |
| 12月 | <ul style="list-style-type: none"> ・人権を考える集い ・年末の交通事故防止運動街頭キャンペーン | <ul style="list-style-type: none"> ・町議会 ・校長会議 ・文化財保護委員会 |

| | | |
|----|---|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツオープンデー（空手道講座） ・しおさい博物館企画展「ところかわれば外来生物 海外に移入した日本の在来種」 | |
| 1月 | <ul style="list-style-type: none"> ・出初式 ・成人式 ・あいさつ励行運動 ・学校視察（南郷中学校） ・学校視察（一色小学校） ・町小中学校作品展 ・租税教育講座 ・葉山町民駅伝 ・三浦半島駅伝 ・町民スキー学校 ・しおさい博物館企画展「第4回葉山一色海岸アート展」「太陽に背を向けた生き物たち」 ・サイエンスカフェ | <ul style="list-style-type: none"> ・校長会議 ・臨時 縣市町村教育委員会教育長会議 ・湘三管内教育長会議及び校長研究会 ・就学支援委員会 ・総合教育会議 ・県町村教育長会研究会 |
| 2月 | <ul style="list-style-type: none"> ・葉山町民大学 ・かながわ駅伝 ・しおさい博物館企画展「太陽に背を向けた生き物たち」 ・家庭教育支援講座 ・葉山町所蔵美術展（しおさい博物館） ・葉山町所蔵美術展②（図書館） | <ul style="list-style-type: none"> ・校長会議 ・町議会 ・縣市町村教育委員会教育長会議 ・文化財保護委員会 |
| 3月 | <ul style="list-style-type: none"> ・小学校卒業式 ・中学校卒業式 ・辞令伝達式、辞令交付式 ・公民館教室「ジュニアハンドベル」ロビーコンサート ・しおさい博物館企画展「太陽に背を向けた生き物たち」 ・サイエンスカフェ ・ヨット乗船体験 ・葉山町所蔵美術展（しおさい博物館） ・葉山町所蔵美術展②（図書館） | <ul style="list-style-type: none"> ・校長会議 ・社会教育委員会 ・青少年問題協議会 ・青少年指導員定例会 ・文化財保護委員会 ・スポーツ推進委員定例会 ・古墳整備検討会 |

4 「教育総合プラン 学びの基本理念」に基づく取組状況

「葉山町教育総合プラン」では、教育施策の基本方針について、次のように述べています。

学習は、個人が自発的意思に基づいてより良く生きるためになされるものです。それにより一人ひとりの身体的・知的・情緒的・社会的行動が進歩し、調和のとれた人格が形成されます。また、教育は、一定の社会において個人に他から働きかけ、社会生活に必要な能力や資質を発達させる営みです。つまり「学習は自分づくり、教育は人づくり」といえます。

そこで、普遍的なこと、及び、現在の社会背景から生じている課題やこれから特に求められているであろうことを考慮しながら、学びを通してめざす人間像についての基本的な考え方を『基本理念』としました。そして、それを実現するために重点的に取り組むべき教育のあり方を『教育の重点』とし、今後の教育施策の基本方針とします。

本報告書においては、教育総合プランの4つの基本理念に則して点検・評価を行い、主な活動状況、教育委員会での評価についてまとめました。

また、平成28年度は、以下の5項目を重要事項として取り組みました。

【重要事項】

- ・「総合教育会議」(P16-17 参照)
- ・「第二次葉山町教育総合プラン(案)の策定」(P17 参照)
- ・「葉山町学校給食基本構想」(P17-18 参照)
- ・「葉山町学びづくり研究推進事業」(P20 参照)
- ・「雑誌スポンサー制度」(P34 参照)

(1) 基本理念 I 自立した人間をめざして

| | |
|----------------|----------------|
| 重点：●家庭教育を充実しよう | ●特別支援教育を大切にしよう |
| ●幼児教育を充実しよう | ●健康生活を推進しよう |
| ●学校教育を充実しよう | ●学びの場を充実しよう |

【平成 28 年度の主な取り組み】

＜教育総務課＞

① 総合教育会議

平成 27 年 4 月 1 日に施行された、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律により、教育の政治的中立性、継続性、安定性を確保しつつ、地方教育行政における責任の明確化、迅速な危機管理体制の構築、首長との連携強化、及び地方に対する国の関与の見直しが図られました。総合教育会議は、すべての地方公共団体に設置が義務づけられ、会議は首長が招集し、教育に関する「大綱」を首長が策定することになります。今年度は、5 月と 1 月に会議を 2 回開催し、英語教育の強化及び小中一貫教育、生涯学習、教育大綱策定などについて協議が行われました。

【評価】

- 総合教育会議は、町長が招集し、5 月と 1 月に 2 回開催されました。第 1 回目の会議では、英語教育の強化、小中一貫教育、生涯学習、大綱について協議し、第 2 回目の会議では、引続き大綱について協議しました。

英語教育の強化については、次期学習指導要領を見据えての状況分析を行い、今後、社会のグローバル化が進展する中で、英語力がますます重要となるので、単に読む・書くことが出来るようになるだけでなく、英語でコミュニケーションが図れるよう子どもの力を育てていく授業作りが重要となることなど認識を共有しました。

小中一貫教育については、小中一貫あるいは縦連携という取り組みの中で、「育てたい 15 歳像」「目指すべき 15 歳像」について、教職員が共通の認識を持ち理解を得ることが重要であることの認識を共有しました。

生涯学習については、かつては社会教育とっていたものが、幼児から高齢者までライフサイクル全体を通じての生涯学習といわれるようになるなど主体の転換がある中で、現在、町における生涯学習施策は、教育委員会が社会教育の立場から担っており、生涯学習環境の再構築の検討が必要であるとの認識を共有しました。

また、生涯学習社会の実現に向けた動きや人々の生涯にわたる知識の習得に

は、これらを支える学習の場の提供が不可欠であるとの認識に基づき、図書館、博物館、南郷公園などのあり方について協議が行われました。

大綱については、その必要性や作成方法等について協議を行い、現在策定中の葉山町第2次教育総合プランを参酌した形で、町長が大綱案を作成し、改めて平成29年度総合教育会議で協議することを確認しました。

今後、会議を年2回程度開催し、町長と教育委員会が協議することにより、両者が教育施策の方向性を共有し、一致してその執行に当たれるように進めていきます。

② 第二次葉山町教育総合プラン（案）の策定

第二次葉山町教育総合プランは、教育行政の指針として、また教育振興に関する施策を総合的に推進するための行動計画として策定するもので、同時に葉山町教育振興基本計画に位置づけられるものです。

今年度は、教育総合プラン（案）について、教育委員会から「葉山町教育振興基本計画策定委員会」に諮問が行われ、全4回の審議を経て11月18日に、同委員会 出石委員長より答申書が提出されました。

この答申書を受けて平成29年2月8日から3月9日までパブリックコメントによる意見募集を行い、1団体3名、17件の意見をいただきました。

今後、教育委員会の承認を得て「第二次葉山町教育総合プラン」を公表していく予定です。

【評価】

○ これら答申書及びパブリックコメントの意見を踏まえて、新しい教育政策を進める上での行動計画（案）を策定することができました。

今後、計画期間（4年間）を目安にPDCAサイクルによる進行管理を行うことができるようになります。

③ 新規 葉山町学校給食基本構想

「葉山町立中学校給食推進委員会」からの報告において、中学校において完全給食を実施する機会に、小学校給食施設の老朽化対策を一体的に進めることが「食の安全」と「効率性」の観点から適当であるとの見解が示されたことを受け、葉山町学校給食基本構想（案）の策定に向けて、平成28年2月から3月にかけて保護者・教職員・上山口地域住民に対して全13回の説明会を実施しました。その結果を踏まえ、4月から6月にかけて教育委員会において5箇所の

候補地を挙げ再検討を行い、「葉山中学校法面」が最も適していたため、候補地を「上山口小学校旧校舎敷地」から「葉山中学校法面」に変更しました。教育委員会8月定例会において内容が確定した、葉山町学校給食基本構想（案）を基に8月から9月にかけて、保護者・教職員に対する2回目の説明会を開催し、その後、教育委員会9月定例会において基本構想を承認し、「葉山町学校給食基本構想」として町長に提出しました。

この葉山町学校給食基本構想に基づき、学校給食センター整備を行うため一般会計補正予算（第4号）で学校給食センター敷地造成工事に伴う、測量・地質調査・設計業務に係る予算を計上し、一部設計業務を平成29年度に繰り越し明許しました。

【評価】

- 葉山町学校給食基本構想を策定するため2度の説明会を開催し、学校給食センター化について、保護者・教職員などから一定の理解を得て、9月21日の教育委員会9月定例会で、葉山町学校給食基本構想を教育委員会として意思決定ができました。

葉山町学校給食基本構想が策定されたことを受け、平成31年度から32年度における給食センター供用開始をめざし、学校給食センター敷地造成工事に伴う予算を計上し執行しました。平成29年度には、学校給食センター設計業務及び厨房機器等の購入に係るプロポーザルの予算を計上しており、児童・生徒への早期の給食提供を目指します。

④ 小学校給食

現在、小学校4校で行っている自校式給食については、学校給食衛生管理基準に基づく、衛生管理を引き続き徹底するとともに、老朽化している施設等の適正な維持管理を行いました。

【評価】

- 小学校給食については、安全でおいしい学校給食を提供することができました。

今後も、引き続き給食施設等の適正な維持管理とあわせて、衛生管理の徹底に万全を期していきます。

⑤ 耐震整備事業

平成 27 年度から児童・生徒が使用している構造体の耐震化率は、100%になりました。

また、非構造体の学校施設（一色小学校・葉山中学校）につきましては、屋内運動場天井等非構造部材耐震化工事を実施しました。

* 上山口小学校旧校舎については、文部科学省が実施する「公立学校施設の耐震改修状況調査」において、毎年未耐震として報告していましたが、平成 27 年度の同調査で「児童生徒・教職員等が日常的に使用する建物」を調査の対象建物とするよう留意点が示されましたので、平成 27 年度から、耐震整備の対象から除外し、構造体の耐震化率は 100%になりました。

【評価】

○ 現在、児童・生徒が使用している構造体の耐震化率は、100%に達しているため、平成 28 年度の耐震整備事業としての、構造体の工事の実施はありませんでした。

非構造体の学校施設については、上山口小学校・長柄小学校に引き続き一色小学校・葉山中学校屋内運動場天井等非構造部材耐震化工事を実施し、安全対策をさらに進めることができました。

残りの葉山小学校・南郷中学校屋内運動場天井等非構造部材耐震化工事につきましては、平成 28 年度一般会計補正予算（第 6 号）で予算計上し、繰越明許を行い、平成 29 年度中に完成する予定です。

平成 29 年度で小中学校の構造体（学校校舎）及び非構造体（体育館天井等）の耐震化工事はすべて終了となります。

⑥ 小中学校管理事業

長柄小学校では、教室黒板更新工事（17 教室）と児童の通学路の安全確保のための急傾斜地崩落対策工事を行いました。

また、前年度に実施したグラウンド地質調査及び改修に係る設計業務に基づいて上山口小学校のグラウンド整備工事も行いました。

平成 29 年度当初予算で計上する予定でした葉山中学校グラウンド整備工事については、国の補正予算の動向に伴い、平成 28 年度一般会計補正予算（第 6 号）で予算計上し、繰越明許を行い平成 29 年度中に完成する予定です。

【評価】

- 上山口小学校グラウンド整備を実施したことにより、体育の授業、運動会など施設の利便性の向上が図られました。
教育環境の充実のため、学校の各種設備については、今後も安全安心を第一に点検、整備、修繕を実施していきます。

〈学校教育課〉

⑦ 葉山町学びづくり研究推進事業

平成27年度より3年間にわたり、「葉山町学びづくり研究推進事業」を実施しています。今年度も児童生徒の学力向上や小・中学校の連携等を推進するため、取り組みの充実を図りました。

【評価】

- 本事業の2年目は、小中学校2校が拠点校として研究発表を行い、公開授業や研究協議を通して、小中学校の教員が連携を図りながら授業改善に向けた研究を進めました。多くの教員の参加により、小中学校の校種を越えた意見交換ができ、より充実した研究となりました。また、各校と協力しながら授業づくりの基礎・基本を記した「葉山町学びづくりハンドブック」第1版を作成したことで、授業づくりの参考として活用できるものを共有しました。引続き内容の見直しを図っていくことが求められます。
今後は、小中9年間を見すえた葉山の子ども像の全校共有をはじめ、児童・生徒の「確かな学力」の向上を旨とした取り組みをさらに推進していきます。

⑧ 町費教員の配置

理科や英語等の教科を中心に各校1名ずつ計6名の町費教員を配置したことに加え、中1ギャップの未然防止や小・中学校の連携を目的とした町費教員を2名配置し、指導体制の充実を図りました。

【評価】

- 町費教員の配置については、児童生徒が安定した情緒のもとで「確かな学力」の向上に取り組めるよう、きめ細かな学習支援を意図して推進しました。
また、中1ギャップの未然防止や解消、小・中学校の学習の滑らかな接続を

目的として、得意・不得意の意識の差が大きくなる算数・数学の教科に特化した小中連携の町費教員の配置を継続して実施しました。配置の方法としては、前年度後期は小学校に勤務し、翌年度前期は6年生が進学した先の中学校に勤務するという形態で実施し、小学校と中学校の授業の滑らかな接続を図りました。その結果、中学校1年生の生徒が不安感を抱くことなく安心して授業に臨むことができました。特に中学入学後の4月～6月期は、子ども達の学習に対する不安等が高まる傾向にあり、町費教員の配置によるきめ細やかな学習支援が効果をあげています。

今後も、今日的な課題を踏まえ、学校教育をより一層充実させ、小学校と中学校の教育課程における連携・接続を進めるため、町費教員の人員確保や時間数、支援対象教科等の増加など、更なる取り組みの充実とそのための条件整備に努めてまいります。

***町費教員**

安定した情緒のもとで確かな学力の向上を図るため、町費で任用する教員。専門的な教科の学習指導や、少人数指導、ティーム・ティーチング（TT：複数教員による指導）など、学習の目的や習熟の程度に応じた指導に当たっている。

***中1ギャップ**

中学校への進学にあたり、学校生活や友人関係の急変、心身の急激な発達により、様々な面で不安定になること。文部科学省の調査では、不登校、暴力、いじめが小学生に比べ中学1年生から急激に増えている。

⑨ 教育相談体制

教育相談体制を充実するため、各小・中学校にスクールカウンセラー（SC）、心の教室相談員（中学校のみ）を配置するとともに、教育研究所の教育相談員の役割を明確にした上で、相互の連携を図りました。

相談件数（件）

| | 平成 25 年度 | 平成 26 年度 | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 |
|-------|----------|----------|----------|----------|
| 教育研究所 | 1,087 | 897 | 900 | 1,014 |
| SC | 467 | 414 | 322 | 718 |
| 心の教室 | 1,027 | 746 | 238 | 577 |

不登校（人）・いじめ（件）

| | 平成 25 年度 | | 平成 26 年度 | | 平成 27 年度 | | 平成 28 年度 | |
|-----|----------|-----|----------|-----|----------|-----|----------|-----|
| | 小学校 | 中学校 | 小学校 | 中学校 | 小学校 | 中学校 | 小学校 | 中学校 |
| 不登校 | 9 | 10 | 12 | 9 | 5 | 14 | 6 | 22 |
| いじめ | 小学校 | 中学校 | 小学校 | 中学校 | 小学校 | 中学校 | 小学校 | 中学校 |
| | 6 | 10 | 15 | 2 | 9 | 2 | 72 | 10 |

【評価】

○ スクールカウンセラーや心の教室相談員、教育研究所の教育相談員の連携を深め、きめ細かな教育相談体制の確立に努めました。これにより、件数が増加している教育相談に対応することができました。

また、いじめについては、「いじめはどの学校にも、どのクラスにも、どの児童・生徒にも起こりうる」という考えのもと、積極的な認知を意識したことで、件数は増加していますが、早期発見、初期対応を充実させることができました。今後は、支援シート等を活用し、支援体制や支援の手立ての記録を蓄積することで、さらに教育相談体制を充実させるとともに、小・中学校、また関係機関との連携強化を図ります。

今後も、子どもの心の安全・安心のため、教職員と一体となり、教育相談体制を維持・推進していきます。

*支援シート

いじめや不登校等の支援体制や支援の手立てを記録したもの。ケース会議等でこのシートを活用し、今後の児童・生徒支援に活かします。

⑩ 特別支援教育

各小・中学校においては、特別な配慮を必要とする児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育の充実を図るため、校内の支援体制の整備や、適正な就学支援プロセスの保持、教職員の研修等を進めてきました。

また、葉山町発達支援システムにより教育と福祉の連携が密になり、合同で開催する個別ケース会議や連絡会等の取り組みが、学校におけるより適切な指導や支援に活かされています。

【評価】

○ 特別支援教育については、インクルーシブ教育の理念に基づき、各小中学校に介助員を派遣するなど、きめ細やかな教育支援を行うことで、障害児が交流学級で可能な限り積極的に授業に参加することができるようになってきています。

また、特別支援学級担当者会議を年3回開催して教員に向けての情報提供や県教育委員会指導主事を招いての研修を行い、情報交換をすることで共通理解を深めながら小・中学校の連携を図ることができました。今後は、合理的配慮の観点を踏まえて、全ての教職員が特別支援教育についての正しい理解をもつことができるような研修や実践が必要です。

また、葉山町発達支援システムにおいて、「葉山町相談支援ファイル」を支援のツールとし、情報交換を踏まえながらケース会議や連絡会を開くなど、児童生徒一人ひとりのニーズにより対応した支援を進めています。

*葉山町発達支援システム

発達障害児者及び特別な支援を必要とする児者の早期発見、早期の発達支援を図るとともに、保健・福祉・医療・教育等が連携して一貫した相談・支援を行うためのシステム。平成22年4月設置。

また、ライフステージの様々な場面で、その時々合ったサポートを一貫して受けられるよう、ご本人の情報を一括してまとめておくためのファイルとして「葉山町相談支援ファイル」を希望する保護者に配布しています。サポートに関わる人達にこのファイルの内容を提示することで、一貫性のある支援が行えること、それにより本人が安定した支援を受けられることを目的としています。

*インクルーシブ教育システムとは

人間の多様性の尊重等を強化し、障害者が精神的及び身体的な能力等を可能な最大限度まで発達させ、自由な社会に効果的に参加することを可能とするとの目的の下、障害のある者と障害のない者が共に学ぶ仕組み。

(参考：障害者の権利に関する条約第24条)

*合理的配慮とは

障害者が他の者との平等を基礎として全ての人権及び基本的自由を享有し、又は行使することを確保するための必要かつ適当な変更及び調整であって、特定の場合において必要とされるものであり、かつ、均衡を失した又は過度の負担を課さないものをいう。

(参考：障害者の権利に関する条約第2条)

⑪ 人権教育

児童・生徒がそれぞれの発達段階に応じて、人権に関する基本的な理解を深め、人権尊重の意識を高めることにより、人権の大切さを共感的に受け止めるようになることは、きわめて重要です。こうした人権感覚を育む教育をすべての教育活動を通じて行うとともに、児童・生徒の人権に十分配慮し、一人ひとりを大切にする教育を推進しています。そのために、人権教育担当者会議を開催し、人権教育研修会を実施しました。

【評価】

- 各小中学校の人権教育の推進に向け、人権教育担当者会議を開催し、人権教育の課題を踏まえた人権教育への理解を深めるとともに、各学校の取り組みについて共有化を図りました。また、各分野における人権教育の情報提供を行うとともに、様々な人権問題の中でも特に社会問題となっている子どもの人権侵害を中心に協議を深めました。

また、ワークショップ等を交えた2回の人権教育研修会を実施し、長柄小学校では「自分も相手も大切にする言葉の伝え方」、葉山中学校では「発達障がい者の人権とかかわり方」をテーマとして、教職員の人権感覚を磨く機会としました。

今後は、道徳の教科化に向けて、担当者会議での協議や研修会の内容をさらに充実させていく必要があります。

⑫ 防災教育・防犯教育

葉山町学校防災計画策定後、各学校が学校防災マニュアルの更なる見直しを行い、これに基づく地震・火災を想定した訓練、予告なし訓練、引渡し訓練などを年4～5回程度実施しています。更に葉山小、一色小では津波を想定した高台等への避難訓練を実施するなど、防災教育に力を入れています。小学校では不審者侵入に対応する訓練を年1回実施しており、また、教育委員会から町内及び近隣の不審者情報を各小・中学校に提供しています。

【評価】

- 葉山町教育委員会が策定した学校防災計画を基に、各小・中学校では、それぞれの学校防災マニュアルを改訂し、避難訓練や防災教育を実施しました。具体的には、津波を想定して、高台への避難を取り入れた訓練を実施するなど、従来の予想を超えた災害に対応できる取り組みが進んでいます。

今後は、訓練等を通して課題を明らかにし、よりよい避難訓練・防災教育につなげていくことが重要です。併せて、県内でも子どもが犯罪にまきこまれる事案が発生していることから、防犯教育にも取り組んでいく必要があります。

＜生涯学習課＞

⑬ 「葉山町民大学」の開催(全5回)

生涯学習の一層の充実を目指し、町民の高度な学習要求に応えるために、関東学院大学と提携し、町民大学を開催しました。

実施日：2～3月 参加者：100人 会場：保育園・教育総合センター

テーマ：「イギリスの文化と社会」

主な講座内容：「知られざるエリザベス女王」「シェイクスピアの魅力」

【評価】

○ 生涯学習については、毎回多くの受講希望者があり、人気の高い「葉山町民大学」を開催するなど、さまざまな取り組みを実施して、学びの場の充実を図ることができました。町民大学については、今後、受講生のアンケート結果や要望を踏まえ、テーマ設定を工夫するなど、今まで以上の充実を図る必要があります。

⑭ P T A 研修会の開催

P T A 活動の推進にあたり、活動に必要な知識や技術を習得するとともに、役員としてのあり方や、P T A の今日的課題を正しく認識することを通して、P T A 活動の充実が図れるよう、研修会を開催しました。

実施日：7月13日 参加者：141人 会場：福祉文化会館ほか

・学級委員会分科会テーマ：子育て世帯のマネープラン

講師：高木 典子氏（ファイナンシャルプランナー）

・広報委員会分科会テーマ：広報の作り方

講師：唐沢 多寿子氏（元一色小学校 P T A 広報委員長）

・校外委員会分科会テーマ：災害に備えて～避難所のお話～

講師：益田 孝彦氏（一色小学校長）

【評価】

- P T A研修会では、P T Aの要望を踏まえながら各分科会のテーマを設定することで、活動に必要な知識や技術の習得の機会となりました。今後とも、P T A連絡協議会と教育委員会が協力し、外部からの専門家による研修の機会を充実させるなど、ニーズに応じた研修内容の工夫に取り組んでいく必要があります。

⑮ 公民館教室の開催

町民の学習のきっかけを作り、相互の親交を深めることを目的に、趣味・技能・教養等の各種教室及び講座を開催しました。

実施日：平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月

全教室参加者合計：261 人

会場：図書館・一色小新館・保健センターほか 4 箇所

※主な教室

キッチンはやま, ママヨガ, リフレッシュ体操, 整理収納術

ジュニアハンドベル, ウクレレ, ペーパークラフト

パパと遊ぼう手遊び歌遊び (他 7 教室)

【評価】

- 公民館教室では、土曜日開催の講座や託児付の講座を充実させたことで、多くの町民に学ぶ機会を提供することができました。今後とも、参加しやすい学びの場の提供とともに、教室での学びが町民の自主的な生涯学習活動に発展する取り組みが求められます。

⑯ 学校施設等開放による活動拠点の提供

学校施設や図書館附属施設を、町民の団体活動の拠点として提供しました。

学校施設等開放利用団体登録数 90 団体

気功, ダンス, 卓球, 空手道, 鎌倉彫ほか

図書館附属施設利用団体登録数 64 団体

コーラス, 絵画, 体操, 写真, 郷土史ほか

【評価】

- 学校の教室や音楽室、図書館附属施設を一般開放することで、地域の生涯学習活動に利用できる場所が広がっています。今後とも、町民共有の財産として、図書館附属施設はもとより学校施設についても、学校教育に支障のない範囲で、町民の活動場所に提供していくことが求められます。

⑰ 学校体育施設開放による活動拠点の提供

学校教育上及び公益上支障のない範囲において小中学校体育施設を開放し、町民に、スポーツ・レクリエーションならびに生涯スポーツ活動を普及奨励しました。

学校体育施設開放利用団体登録数 72 団体

サッカー, バトミントン, バasketボール, 剣道, フットサルほか

【評価】

- 学校の体育館や校庭を一般開放し、地域のスポーツ・レクリエーション活動の場所として利用を図りました。今後とも、学校教育に支障のない範囲で、町民の活動場所として提供してまいります。

⑱ 学校プール開放の実施

小学校のプールを開放して、児童の健康増進並びに泳力の向上を図るとともに、町民のスポーツコミュニケーション活動の場を提供しました。

なお、3校開放の予定が、上山口小学校グランド改修工事等の影響により2校の開放となりました。

実施日：8/1～19（14日間） 利用者：808人 会場：葉山小・長柄小

【評価】

- 平成28年度より監視員の現地研修を導入していることで、安全対策の強化につながっています。主な利用者は小学生となっており、健康増進及び泳力向上に効果的な事業となっています。

一方、利用者数は年々減少しており、開放日を調整するなどの検討が必要とされます。

また、引き続き安全対策の強化を進めます。

⑱ 少年少女スポーツ体験講座の開催

小・中学生を対象に、各種スポーツ体験講座を実施し、町内の児童・生徒の体力向上と、スポーツの振興を図りました。

陸上競技講座 実施日：4月～5月（5回）

参加者：小学3～6年生 91人

会場：葉山小・一色小校庭

卓球講座 実施日：6月18日

参加者：小学1～6年生 78人

会場：葉山小体育館

空手道講座 実施日：12月11日

参加者：小学1～6年生とその保護者 25人

会場：葉山小体育館

【評価】

- 3講座中、2講座で定員超えとなるなど、スポーツ活動を始めるきっかけ作りとして効果的に機能しました。今後も継続して充実した講座作りに取り組んでいくとともに、少年少女スポーツ体験講座を経て、各スポーツ協会加盟団体への入会を支援していきます。

⑳ 楽しく走ろう！ジョギング in はやまの開催

ジョギングの楽しさと身体に優しいジョギングの方法を知り、それを健全な身体づくりと体力向上に活かすことを目指して、開催しました。

実施日：10月2日

参加者：小学生以上 11人

会場：葉山小体育館・葉山小校庭等

【評価】

- 唯一の大人向け体験講座として実施してきましたが、講座の性質上、リピーターが無く、近年参加者数に落ち込みが見られます。事業の見直しの検討が必要とされます。

㉑ 町民体力測定

スポーツ活動を始めるきっかけ作り、スポーツ活動継続促進を目的として「町民体力測定」を実施し、今後の健康づくりや体力の向上を図りました。

また、個人においては、文部科学省が推奨する新体力テストによる握力・上体起こし・シャトルラン等を測定することにより、自身の体力を認識し、今後の健康づくりや体力の向上に役立てます。

実施日：10月10日

参加者：6歳以上84人

会場：一色小体育館・一色小校庭

【評価】

- 2回目の実施となり、親子や中高年の参加があるなど、幅広い年齢層が集まる効果的な事業となりました。ただし、前年度より参加者が減少しているため、増加させるための取り組みが必要とされます。

⑳ しろさい公園・博物館の充実

来園・来館される方々により親しまれ、喜んでいただける施設づくりを目指した取り組みの結果、入場者は約2万9千人を超えました。また、葉山芸術祭との共催による「竹あかり展」の開催、講師を招いたサイエンスカフェを開催しました。

主な内容：所蔵美術展等各種展示会の開催

ホームページ「しろさい公園だより」を用いた情報発信の充実

SNS（フェイスブック）を用いた情報発信の充実

【評価】

- 博物館については、開館以来変更していなかった展示物の解説内容を現状の科学に基づいた新しい知見に変更したことや、最新の研究成果を反映させた企画展示などを行ったことで、科学教育の一端を担う施設としての役割を果たすことができました。

しろさい公園・博物館は、園内施設の適切な維持管理の持続はもとより、各種展示会を開催するなど、その効果による入場者増を求めます。

また、SNSを活用した情報発信を引き続き行い、幅広い来園者の増員に繋げてまいります。

㉑ しろさい博物館展示解説及び学習支援

町内小中学校児童・生徒を対象に、展示解説や自由研究の相談を行いました。

また、博物館の展示解説を希望する来園者に対し、学芸員により解説を行いました。

実施日：6月29日・7月29日・8月17・26日 対象：一色小学校4年生

11月10日 対象：上山口小学校4年生

参加者合計：149人

会場：しおさい博物館, 小磯の鼻

【評価】

- 科学リテラシー教育の一環として行われている「学習支援」は、先端科学の研究成果に基づいており、指導や研修を受けた生徒の学習意欲を増す効果にあらわれています。

今後も継続した支援体制を行ってまいります。

*科学リテラシー

科学リテラシーとは「個人としての意思決定、市民的・文化的な問題への参与、経済の生産性向上に必要な、**科学的**概念・手法に対する知識と理解」であるとされる。

④ しおさい博物館学芸員実習等

学芸員資格取得希望者や高校生・中学生・教職員に各種実習を行いました。

学芸員実習

実施日：9月1日～7日 11月24日～12月3日（11/26、11/29、12/2は除く） 実習者：2人 会場：しおさい博物館

高校生インターンシップ

実施日：7月27日～28日 受入者：1人 会場：しおさい博物館

中学生職場体験

実施日：11月17日～18日・11月24日～25日 受入者：8人

会場：しおさい博物館

教職員5年・10年研修

実施日：8月3日～5日 受講者：1人 会場：しおさい博物館

【評価】

- 博物館の存在意義や、博物館の活用方法などの基本的なことから、標本を活用した授業の具体例などにいたるまで、実践的なプログラムに基づいて学芸員実習・インターンシップ・教職員研修等を行うことが出来ました。

今後も時代のニーズに踏まえた受け入れ体制を整えていきます。

㉔ 神奈川県立近代美術館葉山館・山口蓬春記念館との合同見学会

しおさい博物館・神奈川県立近代美術館葉山館・山口蓬春記念館の3館合同で見学会を行いました。

実施日：7月29日・2月22日 参加者：58人 会場：上記3館

【評価】

- 参加者は、近隣3館合同の見学会を行うことにより、普段見学したいと望んでいた他館の施設を知ることが出来ました。
今後も継続した実施を行ってまいります。

㉕ サイエンスカフェの開催

しおさい公園内施設において、「地層から見た三浦半島の生き立ち(9月)」「DNAの大きさを読み解く生物進化(1月)」をテーマに、カフェの雰囲気でお茶を飲みながら参加者と講師・学芸員が話をする「サイエンスカフェ」を開催しました。

実施日：平成28年9月・平成29年1月

参加者：45人

会場：しおさい公園内

【評価】

- 各分野の最先端の研究者を交え科学の話が聞ける機会を設けることは、生涯学習機会の提供であるだけでなく、科学リテラシーの向上にもつながります。
また、従来の講演会と異なり対話形式で会を進めるため、参加者も普段の疑問を投げかけやすいと好評です。今後も継続した開催が望まれます。

〈図書館〉

㉖ ブックスタート

乳児期から親子一緒に絵本に親しむきっかけとして、絵本の紹介や町立図書館の紹介、絵本の読み聞かせ等を実施しました。

実施日：毎月第1木曜日(年12回)

子ども育成課による乳児(4ヶ月)健康診査の際に、待ち時間等を利用して図書館から職員を派遣し実施しました。(子ども育成課連携事業)

会場：保健センター

参加者：202 組

【評価】

- 健康診査に訪れた多くの親子に絵本や図書館事業の紹介ができ、保護者世代来館増につながりました。今後も対面ならではの時間を活かし、分かりやすく絵本の楽しさを伝えていく手法をさらに研究する必要があります。

㊸ おはなし会

幼少期から読書に興味を持ってもらうことを目的として、「おはなしコーナー」において、“絵本の読み聞かせ”や“紙芝居”“手遊び”等を行いました。

実施日：毎週水曜日（年 51 回） 参加者：578 人 会場：図書館

【評価】

- 毎月テーマを変えながらプログラムを工夫し、様々な手遊びを紹介することで、リピーターも増え、参加者数の増加につながりました。今後は、参加者拡充のため、チラシやホームページを活用した広報活動の更なる充実が必要です。

㊸ 社会見学・職場体験

体験学習の一環として、町内小学校が実施する社会見学を受け入れました。その際に、説明資料として、「社会見学のしおり」を作成し、これに従って施設の紹介を行いました。

実施日 1：9 月 28 日 参加者：長柄小学校 3 年生 40 人

実施日 2：11 月 25 日 参加者：葉山小学校 3 年生 137 人

体験学習の一環として、町内中学校が実施する職場体験を受け入れ、図書館が行っている日常業務（図書の貸出返却、館内の清掃等）の実習を行いました。

実施日 1：11 月 11 日 参加者：久木中学校 2 年生 3 人

実施日 2：11 月 17 日～18 日 参加者：南郷中学校 2 年生 2 人

実施日 3：11 月 25 日 参加者：葉山中学校 2 年生 2 人

実施日 4：1 月 26 日～27 日 参加者：沼間中学校 2 年生 2 人

※社会見学・職場体験とも、会場はすべて図書館です。

【評価】

- 小・中学生に図書館の業務を紹介することで、職業への理解を深める機会になりました。今後は、社会見学においては、図書館が提供する資料等の工夫、職場体験においては、「おはなし会」での読み聞かせなど、実習内容の新しいメニューの考案が必要です。

⑩ 図書紹介のパンフレット作成

図書への興味や選書の幅を広げるために、世代や時節に応じた「おすすめ本」のパンフレットを作成・配布しました。

4月「春の絵本」(幼児向)

7月「中学生・高校生にすすめる本」

10月「おすすめの秋の本」(小学生向)

【評価】

- 幼児や学生向けに作成したパンフレットは評判も良く、保護者を含め利用者が増えています。今後も、さらに多くの利用者に活用されるよう、新しいジャンルやテーマを開拓し、図書の紹介を続け、対象となる世代の読書量の増加に繋げることが必要です。

⑪ 読書手帳「読書の記録」

読書意欲の向上を図り、図書館の利用拡大につながるよう、読書履歴を記録できるノートを作成し配布しました。

大人用(50冊分):23人、子ども用(30冊分):29人

『よく読みました賞(30冊分達成)』:子ども11人

【評価】

- 小・中学校にPRポスターで周知したことで、児童・生徒の利用が増えました。「よく読みました賞」を授与された子どもも増え、読書意欲の向上の一助となりました。今後は、「読書の記録」そのものを普及させるため、新たなPRの工夫が必要です。

③② 新規 雑誌スポンサー制度

経費削減と雑誌資料の充実等を併せて図るため、平成 28 年度から雑誌表紙及び雑誌架に民間企業等の広告を掲載し、その代わりに当該雑誌の年間購読料を負担していただくという「葉山町立図書館雑誌スポンサー制度」を始めました。今年度は、2 者から 5 誌の提供がありました。

【評価】

- 広報等の PR において、年度の途中からスポンサー 2 者から 5 誌の提供があり、雑誌代の収入につながりました。今後は、現スポンサーの継続、及び新規スポンサーの増加に向け、PR の充実に努め、最終的には、図書館が購入する定期刊行物の増冊につなげることが必要です。

(2) 基本理念Ⅱ 心豊かに共生できる人間をめざして

- 重点：●社会性を育てよう
- 学校間・校種間交流を促進しよう
 - 地域・世代間交流を促進しよう
 - 国際的な視野にたつ人間を育てよう

【平成 28 年度の主な取り組み】

＜学校教育課＞

① 小・中学校の連携

小学校 6 年生が、主に進学を予定している町立中学校を訪問し、生徒会が主体となって学校紹介や部活動紹介を行っています。

また、教育研究所では、小中連携に関する課題の整理・研究を進めるため、町費教員・指導主事が参加する連絡会を開催しました。

【評価】

- 小学校 6 年生の中学校訪問により、中学進学に対する不安を解消し、入学への期待感を持たせることができました。今後は、内容・開催時期等を工夫し、この取り組みを継続・充実させていくことが必要です。
また、小中連携に関する連絡会では、算数・数学についての指導・学習の接続に関する研究を進めることができました。今後は、他の教科についても、小中接続に関する研究を進める必要があります。

② 「わかる！算数教室」の開催

葉山町教育研究所が主体となり、学年末休業日を利用して、小学校 6 年生を対象に「わかる！算数教室」を 2 コース 4 日間開催し、延べ 31 人が出席しました。小中連携に関する連絡会で出された成果と課題等を踏まえ、中学校でつまづきそうな「異分母分数の足し算・引き算」を中心に教材を準備し、学習を進めました。

【評価】

- 「わかる！算数教室」に参加した児童や保護者からは、「苦手な分数を中心とした学習はためになった」、「苦手意識を取り除くことができた」、「領域をしぼった指導が良かった」等の感想が寄せられ、一定の効果が得られたことがわ

かりました。

今後は、さらに子ども達の実態把握に努め、教材や授業方法に改善を加えながら、充実した教室となるよう努めていくことが大切です。

③ 小学校外国語活動・中学校英語教育

次期学習指導要領における小学校外国語教育導入に向け、東京学芸大学粕谷恭子先生を講師に迎え、「小学校英語低学年化・教科化に向けて考えておくこと」をテーマに小学校英語夏季研修講座を開催しました。

また各小学校では、小学校外国語活動研究会の研究をふまえて、ALTと連携した授業実践や、英語学習に関する指導法の工夫をテーマとした、授業研究や公開授業を行いました。

【評価】

○ 小学校英語夏季研修講座により、小学校英語の教科化等に向け、情報共有が進むとともに、今後の授業実践への示唆となりました。

また、各小学校の授業研究や公開授業により、授業力の向上を図ることができました。

今後も小学校外国語教育の推進に向け、中学校英語教員との連携を含め、更なる研修・研究を進める必要があります。加えて、小学校英語授業数の増加に対応すべく、ALTの配置も充実させる必要があります。

*ALT (Assistant Language Teacher) : ネイティブスピーカーの外国語指導助手

④ 地域連携による学習の推進

地域との連携をさらに進め、葉山町の自然や環境、歴史や文化、社会活動などに関わる体験学習を推進しました。

【評価】

○ 小学校では地域の人材を活用し、各教科において米作りや昔遊び体験等さまざまな体験学習を実践することができています。また、地域見学や施設見学においても各校で学年に応じた取り組みが工夫され、有効な学びの場となっています。

南郷中学校での「FGC活動（葉山の良い暮らしを発見する活動）」や葉山

中学校での「ふれあい講座」の実践など、地域の方々の協力を得ながら、有意義な学習を展開することができています。

今後も、地域との連携を継続することによって、児童生徒が地域を愛する気持ちをさらに育むことができると考えています。

＜生涯学習課＞

⑤ ジュニアキャンプ

夏休み中に国立中央青少年交流の家(御殿場市)でジュニアキャンプを開催し、他の学校の同年代の仲間や異世代の青少年指導員やジュニアリーダーとのふれあいを通して、子どもたちが集団生活における協力やルールを守ることの大切さを学ぶなど、自主性・協調性を育みました。

実施日：8月18日～19日（1泊2日）

参加者：小学6年生67人

会場：静岡県御殿場市 国立中央青少年交流の家

【評価】

○ 青少年育成の場として学校間交流の充実を図ることができました。今後も体験者がさらに増加していくことが望まれます。

また、ジュニアリーダーの活動を間近で見ることにより、ジュニアリーダーへの興味や養成講座への参加へつなげていきます。

⑥ 各種青少年体験事業

各種青少年体験事業では、子どもたちに、自然とふれあいながら様々な体験活動をする機会を作りました。「葉山自然観察隊」では、三ヶ下海岸において磯の生き物に触れ、「さわやか体験学習」では、青少年指導員の指導により、ジェルキャンドルを作りました。

葉山自然観察隊

実施日：6月5日、11日

参加者：小学3・4年生33人

会場：しおさい博物館、三ヶ下海岸

さわやか体験学習

実施日：9月24日

参加者：小学4～6年生37人

会場：保育園・教育総合センター

海の学校（波乗り体験）

実施日：7月16日

参加者：小学3年生～高校3年生と保護者46人

会場：葉山公園・大浜海岸

海の学校（ヨット体験）

実施日：8月3日

参加者：小学5・6年生22人

会場：葉山港・港湾管理事務所

海山に育ち親しむ子どもたち（里山管理体験）

実施日：4月23日

参加者：小学4～6年生67人

会場：湘南国際村緑地

海山に育ち親しむ子どもたち（稚魚放流・潮干狩り体験）

実施日：5月21日

参加者：未就学児童3～5歳92人 小学1～3年生 156人

会場：森戸海岸

【評価】

- 各種青少年体験事業などを通じて、学校間・校種間交流の充実を図りました。今後も各活動が継続され、体験者がさらに増加していくことが望まれます。

⑦ 逗葉地区青少年音楽祭

葉山中学校、南郷中学校、逗子中学校、久木中学校、沼間中学校、逗子高校の各吹奏楽部が参加し、交流を深めました。音楽活動の振興と青少年の健全育成を図りました。

実施日：10月23日

参加者：6団体（約234人）

会場：葉山町福祉文化会館

【評価】

- 成果発表の場を逗子市と確保することにより、学校間・校種間交流の充実を図ることができました。今後も各活動の継続と成果発表の場の確保が望まれます。

⑧ ジュニアリーダー養成講座

青少年が自ら進んで社会へ参加するための場所作りとして、ジュニアリーダー養成講座を開講し、リーダーとして必要な基礎知識・技術を習得し、子ども会等の地域活動にそれらを反映できるように指導・育成を行いました。

実施日：11月26日、12月17日～18日、1月21日、2月18日、25日、
3月4日

参加者：小学5・6年生・中学1年生34人

会場：保育園・教育総合センター

【評価】

○ 青少年育成の場としてのジュニアリーダー活動を通じて、学校間・校種間交流の充実を図ることができました。今後も各青少年活動が継続され、ジュニアキャンプをはじめとする各種青少年体験事業に積極的に自ら進んで参加する青少年を増加させる必要があります。

〈図書館〉

⑨ 展示及び特集コーナーの資料紹介

来館への動機付けや、文化振興の一助とするため、エントランス展示ケースのほか、貸出室内の本棚に特集コーナーを設置し資料紹介を行いました。

また、「堀口大學文庫」として、葉山町名誉町民の詩人で、フランス詩の翻訳で名高い堀口大學氏の著作や草稿など約400点を常設展示しています。

テーマ：4月 映像化された本

5月 みんなの仕事

6月 宮沢賢治特集

7月 世界の民話・昔話・子どもの雑誌

8月 かいのどうぶつえん

9月 The 老後

10月 私のBest3

11月 町所蔵美術展①

12月 人権週間

1月 ミステリー小説

2月 おいしい本

3月 町所蔵美術展②

【評価】

- 展示により、利用者が様々なジャンルに興味を持つ機会を提供できました。また、展示資料のリクエストに応じることで来館者も増加しました。今後も、引き続き多彩なテーマ設定と展示方法の工夫が必要です。常設展示室の堀口文庫は、来館者の興味をさらに引くよう資料の入替えやキャプション等に工夫を施す必要があります。

(3) 基本理念Ⅲ 自然のあらゆることに思いを馳せ、感謝の念を持って行動できる人間をめざして

重点：●身近な視点から環境を考える力をつけよう
●自然環境を汚さない行動力をつけよう
●地球・生命を愛する心を伝えよう

【平成 28 年度の主な取り組み】

＜学校教育課＞

① 環境教育

各小中学校では、日頃からごみの分別などを行うとともに、牛乳パックの解体・洗浄による再資源化に取り組みました。

また、生ごみ処理機「キエーロ」を通して、生ごみの減量化に対する取り組みを学びました。

【評価】

- ごみに関する学習を通して、環境に関する意識を高めることができました。今後は、学校で得たごみ（環境）に関する学習成果を家庭や地域で反映できるよう、環境教育を進めていくことが必要です。

② 自然体験学習

葉山の豊かな自然環境や各学校の教育環境を生かし、地域の人材を活用した体験学習を行いました。

【評価】

- 水辺の環境調査、葉山メダカの飼育やアマモの観察、ビオトープでの水生生物の観察など、それぞれの学校環境に合わせてさまざまな自然体験活動が実践できています。今後も、地域の自然環境や人材を生かし、自然とのふれあいを積極的に取り入れた活動を継続していきます。

＜生涯学習課＞

③ 自然体験イベントの開催

「海山に育ち親しむ子どもたち～里山管理体験」、「海山に育ち親しむ子ど

もたち～稚魚放流・潮干狩り体験」、「葉山自然観察隊」において、子どもたちが、山や海に親しみながら自然の大切さを学びました。

里山管理体験

実施日：4月23日

参加者：小学4～6年生67人

会場：湘南国際村緑地

稚魚放流・潮干狩り体験

実施日：5月21日

参加者：未就学児童3歳～5歳92人、小学校1～3年生156人

会場：森戸海岸

葉山自然観察隊

実施日：6月5日・11日

参加者：小学3・4年生33人

会場：しおさい博物館、三ヶ下海岸

海の学校（ヨット体験）

実施日：8月3日

参加者：小学5・6年生22人

会場：葉山港・港湾管理事務所

海の学校（波乗り体験）

実施日：7月16日

参加者：小学3年生～高校3年生と保護者46人

会場：葉山公園・大浜海岸

【評価】

- 海の学校（ヨット体験、波乗り体験）では、自然（海）の素晴らしさを再確認し、海山に育ち親しむ子どもたちの「里山管理体験」では山の生命、「稚魚放流・潮干狩り体験」「葉山自然観察隊」では海の生命に触れ、親しみながら自然の重要性を学ぶことができました。

また、同世代が多数参加する事で、地域社会での人間関係の希薄化が改善されるなど、青少年の健全な心身を育くむ事に効果的な事業となりました。

今後も引き続き、子どもたちが自然の大切さを学べる「葉山町特有の自然」を生かした体験型イベントの更なる充実を目指していく必要があります。

(4) 基本理念Ⅳ 人類の進歩と発展に貢献できる人間をめざして

重点：●家庭から地域（葉山）へ、そして世界へ

●社会変化に対応する力を育てよう

●新たな教育にチャレンジしよう

【平成 28 年度の主な取り組み】

＜学校教育課＞

① 情報教育

町内の学校間をつなぐネットワーク（ファイルサーバ）の導入により、6校が情報共有できる共通フォルダ等を整備し、業務の効率化を図りました。校務用パソコンについては、教材研究や業務への活用を推進するとともに、情報セキュリティに関する周知を図りました。

また、各校においては、児童・生徒に携帯電話の正しい利活用法を習得させるため、携帯電話会社や警察等と協力・連携し、情報モラル教育に関する授業を継続して実施しています。

I C T機器を活用した授業づくりについては、広域で効果的な情報教育を研究している、横須賀市、三浦市、逗子市、葉山町からなる「三浦半島地区教育ネットワーク協議会」の研究会や研修会に参加し、研鑽を深めました。また、町の情報教育研究会では、各校の代表者とともに、情報交換や情報共有を行いました。

【評価】

○ 教員一人1台の校務用パソコン配備により、教材研究、教材作りの推進および業務の効率化を図ることができました。また、「教育情報ネットワークの利用に関するガイドライン」を改定し、取り扱いに係る運用ルールの徹底を図ることで、パソコンの利便性と、その危険性についての各教員の意識やモラルを高める取り組みができました。

I C T機器を活用した効果的な授業づくりについては、近隣市町との情報交換や連携した取り組みをすることで、研究を深めることができました。

今後は、新学習指導要領の実施に向けて、I C T環境の充実を図るとともに、学校におけるI C T活用の実態を把握し、研修会実施を含めて最新の情報を学校現場へ提供し、具体的実践ができるよう準備を進める必要があります。

また、近年の、携帯電話、スマートフォン等、情報端末を所有する小中学生の増加に伴い、情報に関わる危機管理を意識し、学校主催の研修会を開催するだけでなく、家庭の中で、携帯電話等の使用に関するルールをつくる等、学校と保護者が連携した対策を推進して行くことが必要です。

② 職場インタビュー・職場体験学習の実施

子どもたちが将来自立した社会人となるため、学校、家庭、地域社会において、勤労や職業に積極的に関わりながら「学ぶこと」や「働くこと」の意義について考えることができるよう、各中学校で職場インタビュー・職場体験学習を実施しました。

また、進路選択の時期に卒業生の話を聞く会を実施するなどの新たな取り組みも進んでいます。

【評価】

- 職場インタビューや職場体験学習は、子どもたちが「学ぶこと」や「働くこと」の意義を理解するとともに、主体的に自己の進路を選択・決定できる能力を高め、それぞれが将来直面するであろう様々な課題に柔軟に、かつ、たくましく対応する力を育成するうえで、大いに効果をあげています。この取り組みは、社会人・職業人として自立した人になっていくための一助になっており、「生きる力」を育てるものとして大きく評価することができます。今後は、3年間を見通した系統的なキャリア教育という視点から、各校で教育課程を編成していく必要があります。

③ 小中学校作品展

各学校の教育活動を基に、その成果発表の場として、小中学校作品展を開催しました。来場者延べ3,102人でした。

【評価】

- 小中学校作品展は、児童・生徒が他校の作品を見ることで、お互いのよさを認め合うとともに、創作意欲を向上させ、進級・進学への期待感を育てる機会となっています。また、来場者は延べ3,000人を超え、保護者・地域の方々からも教育活動を知る機会として好評でした。今後も継続が望まれます。

<生涯学習課>

④ 郷土の歴史・文化の保護

葉山小学校の青い目の人形メリーを町の文化財として新たに指定しました。

また、イエズス孝女会修道院旧館（旧東伏見宮葉山別邸）が国の登録有形文化財として登録されました。

国指定史跡長柄桜山古墳群では恒久的な保護を図るため、整備工事を実施しました。

また、町指定文化財の維持管理の向上を促進するため奨励金を交付し、郷土の歴史・文化の保護に努めました。

【評価】

○ 新たな町文化財指定1件、国登録有形文化財（建造物）の登録1件を行い、文化財のさらなる保護を推進できました。国指定史跡長柄桜山古墳群をはじめとする町内の貴重な文化財は、今後も引き続き適切に保護し、次の世代に継承してまいります。

⑤ 郷土の歴史・文化の学習

文化財啓発事業として、葉山町文化財研究会の協力により「文化財講座」を実施しました。

また、青い目の人形の町文化財指定を記念した展示会、三浦半島三市一町の連携により文化財パネル展を実施しました。

教育委員会が所蔵する民具の学校見学にあたって、葉山町文化財研究会をガイド団体として紹介したほか、長柄桜山古墳群について職員による出前授業を行いました。

文化財講座

実施日：10月13日・20日・27日、11月10日

参加者：18人

会場：一色小新館ほか

学校授業における文化財活用

古墳の出前授業

実施日：4月27日

参加者：葉山小6年生

会場：葉山小

所蔵民具見学のガイド紹介（長柄小、上山口小）

【評価】

○ 葉山町文化財研究会等関係団体の協力を得て、文化財講座や学校授業での文化財活用が図られました。今後とも関係団体との連携や学校教育における文化財の活用を通じて、社会全体で文化財をまもり伝えていく意識を醸成する取り組みを継続して行ってまいります。

5 学識経験者による意見

「教育委員会の点検・評価報告書」についての所見（平成 28 年度事業対象）

田辺 忍（元葉山町立葉山小学校校長）

1 教育委員会の活動内容について

（1）教育委員会会議の開催状況

平成 28 年度の教育委員会会議は、月 1 回、計 12 回の教育委員会定例会と、1 回の教育委員会臨時会が開催され、また、随時の研修会等も報告されており、適切かつ妥当な回数と考えます。

（2）教育委員会会議の付議事項

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 25 条及び「葉山町教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則」第 2 条の規定に基づき、平成 28 年度は、合計 20 件の議案について適切かつ慎重に審議が行われ、葉山町の教育に関する実態把握や具体的成果、及び今日的課題について共通理解を深める会議になっています。また、議事録については適正に作成・公開されており評価できます。

（3）教育委員会会議以外の活動状況

平成 28 年度、教育委員の教育委員会会議以外の活動として、町議会関係、総合教育会議、校長会議・教頭会議、学校視察・運動会、生涯学習諸団体会議、各種行事等について、170 回の出席及び参加が報告されています。学校・地域等の教育活動・生涯学習活動の実態を把握する教育委員会会議以外の本活動は、教育施策を着実の実施していく上で、極めて重要です。重ねて国・県レベルの会議参加による他機関等との連携推進に尽力されている教育委員各位の積極的な姿勢に敬意を表します。

2 「教育総合プラン 学びの基本理念」に基づく取組状況について

(1) 基本理念 I 自立した人間をめざして

| | |
|----------------|----------------|
| 重点：●家庭教育を充実しよう | ●特別支援教育を大切にしよう |
| ●幼児教育を充実しよう | ●健康生活を推進しよう |
| ●学校教育を充実しよう | ●学びの場を充実しよう |

【平成 28 年度の主な取り組み】

＜教育総務課＞

① 総合教育会議

平成 27 年 4 月 1 日に施行された、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律により「総合教育会議」が設置され、町長の招集により 5 月と 1 月に 2 回開催しています。教育の政治的中立性、継続性、安定性を確保しつつ、地方教育行政における責任の明確化、迅速な危機管理体制の構築、首長との連携強化等が「総合教育会議」の設置趣旨となっています。会議では英語教育の強化及び小中一貫教育、生涯学習、教育大綱策定などについて協議が行われたことは、首長と教育委員会がこれまで以上に今日の教育課題を共有し、解決策を図っていく機会となることを願っております。

② 第二次葉山町教育総合プラン（案）の策定

「葉山町教育総合プラン」は、教育行政の指針として、また教育振興に関する施策を総合的に推進するための行動計画として策定されてきましたが、変化する社会情勢や教育環境に的確に対応するために改訂されることは、極めて意義のあることです。

平成 28 年度は、教育総合プラン（案）について、教育委員会から「葉山町教育振興基本計画策定委員会」に諮問が行われ、全 4 回の審議を経て、同委員会より答申書が提出され、この答申書を受けてパブリックコメントによる意見募集を行い広く意見を集約してきたことは有意義であったことと思われまます。葉山町の教育振興基本計画に位置付けられる「第二次葉山町教育総合プラン」におおいに期待しています。

③ 新規 葉山町学校給食基本構想

④ 小学校給食

「葉山町立中学校給食推進委員会」からの報告において、中学校において完全給食を実施する機会に、小学校給食施設の老朽化対策を一体的に進めることが「食の安全」と「効率性」の観点から適当であるとの見解が示されたことを受け、「葉山町学校給食基本構想」を策定し、町長に提出しています。また、策定に至るまでに、保護者・教職員・上山口地域住民に対して全13回の説明会を実施したことや施設の候補地の再検討を行い当初予定を「葉山中学校法面」に変更した上で、「葉山町学校給食基本構想（案）」を基に保護者・教職員に対する2回目の説明会を行い、きめ細やかな取り組みを行ってきた事は高く評価できます。

また、葉山町学校給食基本構想に基づき、学校給食センター整備を行うため、学校給食センター敷地造成工事に伴う、測量・地質調査・設計業務に係る予算を計上し、平成31年度から平成32年度における給食センター供用開始をめざし、計画的に推進しようとしている事も、高く評価できます。

⑤ 耐震整備事業

児童・生徒が使用している構造体の耐震化率は、100%になったことに加え、非構造体の学校施設は、平成28年度に一色小学校・葉山中学校屋内運動場天井等非構造部材耐震化工事を実施し、残り2校の非構造体の工事は平成29年度に完成する予定とのこと。計画的に実施されている事は評価できます。

今後の課題として、上山口小学校旧校舎であった教育支援センター及び生涯学習施設として使用している建物の改修等が残されております。早期の対応をお願いいたします。

⑥ 小中学校管理事業

長柄小学校の教室黒板更新工事（17教室）と児童の通学路の安全確保のための急傾斜地崩落対策工事。また、上山口小学校のグラウンド整備工事も行い、教育環境の整備を計画的に推進することは高く評価できます。今後も安全安心を第一に点検・整備・修繕を計画的な施設設備の改善をお願いいたします。

<学校教育課>

⑦ 葉山町学びづくり研究推進事業

児童・生徒一人ひとりに「確かな学力」身に着けさせることは、教職員の本務であり、そのために「授業力の向上」は不可欠なことです。小中学校教員が校種に関係なく同一の公開授業等において意見交換を行い、共通の実践研究を行っている「葉山町学びづくり研究推進事業」は極めて有意義であり、今後も、継続していく中で、小中9年間を見すえた葉山の子ども像の共有をはじめ、児童・生徒の「確かな学力」の向上を目指した取り組みに期待しております。

⑧ 町費教員の配置

町費教員の派遣はティームティーチング等、各学校の実情に応じたきめ細やかな教育指導の一助となっており、着実に成果を上げている事は高く評価できます。また、中1ギャップの未然防止や小・中学校の連携を目的とした町費教員(算数・数学)を2名配置し、指導体制の充実を図ってきている事は、高く評価できます。今後は、他教科(特に英語)も視野に入れた町費教員の派遣拡充を期待します。

⑨ 教育相談体制

中学校に県から配置されてスクールカウンセラー(SC)が小学校への配置・拡充を図り、また、心の教室相談員(中学校のみ)や教育研究所の教育相談員の役割を明確にした中で着実に教育相談実績を積み重ねてきています。

近年、発達障がいに伴う相談や様々な家庭環境による相談が多様化してきています。そのためにも、小学校における「心の教室相談員」や相談体制の更なる充実が望まれます。

⑩ 特別支援教育

各小・中学校において、特別な配慮を必要とする児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育の充実を図るため、校内の支援体制の整備や、適正な就学支援プロセスの保持、教職員の研修等を推進してきたことは高く評価できます。また、葉山町発達支援システムにより教育と福祉の連携が密になり、合同で開催する個別ケース会議や連絡会等の取り組みが、学校におけるより適切な指導や支援に活かされている事は高く評価できます。義務教育後の事も考えて福祉との連携は非常に大切であると考えます。

⑪ 人権教育

各小中学校の人権教育の推進に向け、人権教育担当者会議を開催し、人権教育の課題を踏まえた人権教育への理解を深めるとともに、各学校の取り組みについて共有化を図ったことや子どもの人権侵害を中心に協議を深めたことは評価できます。また、人権教育研修会では教職員の人権感覚を磨く機会となったことは有意義です。更なる人権教育の推進に期待いたします。

⑫ 防災教育・防犯教育

葉山町学校防災計画策定後、各学校が学校防災マニュアルの更なる見直しを行い、これに基づく地震・火災を想定した訓練、予告なし訓練、引渡し訓練など実施されています。更に海岸から近い学校では津波を想定した高台等への避難訓練を実施されています。今後も児童・生徒の安全と共に、家庭・地域との連携が深まる事を期待しております。また、子どもが犯罪に巻き込まれるとい

う痛ましい事案が発生しております。防犯教育にも取り組んでいくことは大切なことであると思います。

＜生涯学習課＞

⑬ 「葉山町民大学」の開催(全5回)

関東学院大学と提携し、町民の学習ニーズに応じて、町民の生涯学習の場として定着している事は高く評価できます。今後も、受講者のニーズに応えた企画・充実していくことを期待します。

⑭ P T A研修会の開催

P T A活動の推進にあたり、活動に必要な知識や技術を習得するとともに、役員としてのあり方や、P T Aの今日的課題を正しく認識することを通して、P T A活動の充実が図れるよう、各委員会がテーマを設定し研修会を開催し、自発的な学習の場になっている事は高く評価できます。今後もP T A活動の充実が図れるよう支援を継続してください。

⑮ 公民館教室の開催

⑯ 学校施設等開放による活動拠点の提供

⑮～⑯

公民館教室では、より多くの町民の学ぶ機会をつくるために、土曜日の開催や託児付きの講座を開催したことは高く評価できます。このような講座から自主的な生涯学習に発展する事に支援していただきたいと思います。そのためにも活動拠点になる学校施設や図書館附属施設、更には他部局の施設と連携した場の充実を期待します。

⑰ 学校体育施設開放による活動拠点の提供

⑱ 学校プール開放の実施

⑲ 少年少女スポーツ体験講座の開催

⑳ 楽しく走ろう！ジョギング in はやまの開催

㉑ 町民体力測定

⑰～㉑

学校教育上及び公益上支障のない範囲において小中学校の体育施設を開放し、町民のスポーツ・レクリエーションへの取り組み、生涯スポーツへの普及奨励に繋がる講座等の開催は大切な事業です。今後も、町民のニーズを尊重し継続していただきたい。

- ②② しおさい公園・博物館の充実
- ②③ しおさい博物館展示解説及び学習支援
- ②④ しおさい博物館学芸員実習等
- ②⑤ 神奈川県立近代美術館葉山館・山口蓬春記念館との合同見学会
- ②⑥ サイエンスカフェの開催

②②～②⑥について

来園・来館者に親しまれ、喜ばれる施設になっていることが、約2万9千人の来園・来館者に表れていると思います。葉山芸術祭との共催や講師を招いてのサイエンスカフェの開催、県立近代美術館葉山館・山口蓬春記念館との合同見学会などの取り組みの成果の表れかと思えます。また、ホームページやSNSを活用した情報発信の成果もその一助と考えられます。更なる充実を期待いたします。

博物館に関しては、小中学生への学習支援、学芸員資格取得希望者や中・高校生・教職員への各種実習を行い、学習・芸術研究の場としての機能を発揮していることは高く評価できます。より一層の充実を期待します。

<図書館>

- ②⑦ ブックスタート
- ②⑧ おはなし会
- ②⑨ 社会見学・職場体験
- ③⑩ 図書紹介のパンフレット作成
- ③⑪ 読書手帳「読書の記録」
- ③⑫ **新規 雑誌スポンサー制度**

②⑦～③⑫

子ども育成課が毎月第一木曜日に実施する乳児（4ヶ月）健康診断と連携し、乳児と保護者への読み聞かせや図書館の紹介を行う「ブックスタート」、毎週水曜日図書館のお話コーナーで行う「おはなし会」は、乳幼児から本に親しむ事や親子のふれあいを促す機会になっており、これからも継続・充実を期待します。

小学3年生の図書館施設見学、中学2年生の図書館業務の職場体験は、図書館が生涯学習の一つ場として活用できることを学んできています。今後も、各小中学校と緊密に連携し取り組んでいただきたい。

「雑誌スポンサー制度」は、新たな取り組みとして評価できます。今後の継続・充実を期待いたします。

(2) 基本理念Ⅱ 心豊かに共生できる人間をめざして

- 重点：●社会性を育てよう
- 学校間・校種間交流を促進しよう
 - 地域・世代間交流を促進しよう
 - 国際的な視野にたつ人間を育てよう

【平成 28 年度の主な取り組み】

〈学校教育課〉

① 小・中学校の連携

葉山町では以前から小・中学校の教員が連携し、小学校 6 年生が中学校を訪問する活動を実施してきています。中学校の生徒会が主体となって学校紹介や部活動紹介を行っています。このような活動は、6 年生が少しでも安心して進学できる取り組みになっており高く評価できます。今後も 6 年生による中学校訪問活動を継続し、意義あるものにしていって欲しいと願っています。

また、算数・数学の教員の配置に伴って、教育研究所では町費教員・指導主事が参加する小中連携に関する連絡会を開催し、小学校における児童の取り組みや、中学校における学習の不安等を把握しながら、小・中学校のよりよい連携に向けての研究は高く評価できます。他教科へも拡大充実を図っていくことを願っています。

① 「わかる！算数教室」の開催

葉山町教育研究所が主体となり、小学校 6 年生が卒業式を終えた後の中学校へ入学する前の学年末休業日に「わかる！算数教室」を開催してきていることは高く評価できます。今後の継続・拡充を期待します。

③ 小学校外国語活動・中学校英語教育

次期学習指導要領における小学校外国語教育導入を踏まえ、小学校外国語活動でのよりよい授業づくりに向けて、教育研究所主催による小学校英語夏季研修講座を実施しました。また、町小学校外国語活動研究会では、葉山町教育研究会と連携し、授業研究や公開授業を行い、小学校の教員の外国語（英語）活動への取り組みへの意識づけになってきていることは意義ある活動になっています。また、小・中学校の英語教育が充実した活動や授業が行えるよう、小・中学校への A L T 派遣の拡充が望まれます。

④ 地域連携による学習の推進

葉山の地域教育力を活用し、各学校において葉山町の自然や環境・歴史・文

化・社会活動等体験学習を行うことは、学校への理解を深めるとともに、児童・生徒が地域を理解・親しむことに繋がり高く評価いたします。今後の発展拡充を望みます。

＜生涯学習課＞

- ⑤ ジュニアキャンプ
- ⑥ 各種青少年体験事業
- ⑦ 逗葉地区青少年音楽祭
- ⑧ ジュニアリーダー養成講座
- ⑤～⑧について

これらの活動は、『教育理念Ⅱ 心豊かに共生できる人間をめざして』の重点を網羅しており、高く評価できます。次世代の育成と共に、地域・学校間・校種・学年・世代を交流の場として貴重であり継続していただきたい。

＜図書館＞

- ⑨ 展示及び特集コーナーの資料紹介

毎月テーマを決めて、エントランスコーナーでの展示や貸出室本棚での特集資料紹介を実施してきていることは、来館者にとって興味を引く場になっています。今後もより興味を引くテーマで継続していただきたい。

(3) 基本理念Ⅲ 自然のあらゆることに思いを馳せ、感謝の念を持って行動できる人間をめざして

重点：●身近な視点から環境を考える力をつけよう
●自然環境を汚さない行動力をつけよう
●地球・生命を愛する心を伝えよう

【平成 28 年度の主な取り組み】

＜学校教育課＞

- ① 環境教育

各学校において、日常的なごみの分別や給食時の牛乳パックの再資源化活動といった実践活動を通して環境への意識を高めてきています。また、そのような活動が各家庭へも反映し、葉山町全体へのごみ収集に関わってきていると思います。

- ② 自然体験学習

『水辺の環境調査』『葉山メダカの飼育やアマモの観察』『ビオトープでの水

生生物の観察』『田植え・稲刈り等の稲作体験』といった葉山の地域性・各学校の環境を活かした活動は、地域の人材の協力・支援が得られております。今後もこのような活動を充実していけるよう支援していただきたい。

〈生涯学習課〉

③ 自然体験イベントの開催

「海山に育ち親しむ子どもたち～里山管理体験」、「海山に育ち親しむ子どもたち～稚魚放流・潮干狩り体験」、「葉山自然観察隊」では、葉山の自然（山・海）を活かした活動は、葉山の子ども達にとって貴重な体験になったことと思います。また、『海の学校（ヨット体験・波乗り体験）』は葉山ならではの活動です。今後も、葉山の子どもたちが自然の大切さを学べる機会をより充実していけることを期待しています。

（４）基本理念Ⅳ 人類の進歩と発展に貢献できる人間をめざして

重点：●家庭から地域（葉山）へ、そして世界へ
●社会変化に対応する力を育てよう
●新たな教育にチャレンジしよう

【平成 28 年度の主な取り組み】

〈学校教育課〉

① 情報教育

町内の学校間をつなぐネットワーク（ファイルサーバ）の導入により、6校が情報共有できる共通フォルダ等を整備し、業務の効率化を図り、教育環境の整備は高く評価できます。また、パソコンの利便性と、その危険性についての各教員の意識やモラルを高めるため、「教育情報ネットワークの利用に関するガイドライン」を改定するとともに、取り扱いに係る運用ルールの徹底を図ったことは重要なことです。

また、各校においては、児童・生徒に携帯電話の正しい利活用法を習得させるため、携帯電話会社や警察等と協力・連携し、情報モラル教育に関する授業を行うことは重要です。今後も継続して行っていただきたい。

I C T機器を活用した授業づくりについては、横須賀市、三浦市、逗子市、葉山町からなる「三浦半島地区教育ネットワーク協議会」の研究会や研修会で研鑽を深めてきており、情報教育機器等の整備と併せて継続していく必要があります。

② 職場インタビュー・職場体験学習の実施

子どもたちが将来自立した社会人となるため、学校、家庭、地域社会において、勤労や職業に積極的に関わりながら「学ぶこと」や「働くこと」の意義について考えることができるよう、両中学校で行っている職場インタビュー・職場体験学習はキャリア教育の一環として重要です。今後も継続していただきたい。

③ 小中学校作品展

小中学校作品展は、児童・生徒が他校の作品を見ることで、お互いのよさを認め合うとともに、創作意欲を向上させ、進級・進学への期待感を育てる機会となっており、保護者・地域の方々からも教育活動を知る機会として評価できます。今後も継続が望まれます。

<生涯学習課>

④ 郷土の歴史・文化の保護

⑤ 郷土の歴史・文化の学習

④～⑤について

新たな町文化財指定1件（葉山小学校の青い目の人形メリーさん）、国登録有形文化財（建造物）の登録1件【イエズス孝女会修道院旧館（旧東伏見宮葉山別邸）】を行い、文化財のさらなる保護の推進、国指定史跡長柄桜山古墳群をはじめとする町内の貴重な文化財を、次の世代に継承していくことが今に生きる人々の役目です。今後も引き続き適切に保護していくことを望みます。

文化財講座や学校への出前授業などの地道な啓発活動は、大切な活動です。今後も継続的な活動を望みます。

3 『報告書』を読んでの所感

葉山町においては『第四次総合計画』（平成27年度～平成36年度）が策定され、葉山の将来像として『美しい海とみどりに 笑顔あふれるところ温かな ふるさと葉山』とし、その実現のために【人・暮らし・活力づくり編】にかかる9つの基本目標と【協働まちづくり編】にかかる2つの基本目標をあげています。基本目標1では、『子どもの豊かな自己実現力(生きる力)をはぐくんでいるまち』。基本目標2では、『だれもがいつでも学べ、交流し、心身ともに豊かに暮らしているまち』とし、学校教育・生涯学習の重要性を示しています。

また、教育委員会では、『第二次葉山町教育総合プラン』が公表の運びになっています。このプランは教育行政の指針であり、教育振興に関する施策を総合的に推進するもので、葉山町の教育振興基本計画に位置付けられるものと捉えています。

す。このように、町部局と教育委員会が連動して葉山の教育施策について検討してきたことは大変有意義なことと思います。

最近の学校現場では、集団の中では生きづらい特別配慮を必要とする児童・生徒がいます。そのような児童・生徒の教育的ニーズに応じた対応が出来るよう一人ひとりの立場に立つての教育施策が大切かと思えます。

これからの葉山町の教育行政の取り組みを、『総合計画』や『教育総合プラン』に立ち戻って計画を推進していただければと思います。

葉山町教育委員会委員（平成 29 年 3 月 31 日現在）

| 職 名 | 氏 名 |
|----------|-----------|
| 委 員 長 | 鈴 木 伸 久 |
| 委員長職務代理者 | 山 崎 勝 美 |
| 委 員 | 遠 藤 麻 衣 子 |
| 委 員 | 小 峰 み ち 子 |
| 教育長 | 返 町 和 久 |

平成 29 年度教育委員会の点検・評価報告書（平成 28 年度事業対象）

発行者 葉山町教育委員会教育部教育総務課

〒240-0112

神奈川県三浦郡葉山町堀内 2,050 番地の 9

電 話 046 (877) 5100 (直通)

F A X 046 (876) 1861

Eメール：kyouikusoumu@hayama.kanagawa.jp

(インターネット用)

kyouikusoumu@town.hayama.lg.jp

(自治体間専用)